



文句 きりぎりす  
浄瑠璃堂之逸 じょうるりどうのいせ  
三編 さんぺん

東京大塚三軒茶屋

大

井

川

朝あさ  
かか  
るる



大  
朝  
か  
る

八重垣姫  
武田四郎勝頼



文々海理三編

秩父庄司重忠  
 岩永左門宗連  
 傾城阿古屋



文々浄瑠璃第一編



うしろの巻物由

開化の四代ハ

美奈夫  
朝貞日記

あつたの目まはる

あつたのも木暮

あつたの速疾

よつと

よつと

待入



あつたのあつた

あつたのあつた

あつたのあつた

あつたのあつた

あつたのあつた

あつた

あつた

あつた



ト、一  
おまひせと

おんまをれと

義大夫  
先代萩

おんまをれと

おんまをれと

おんまをれと

よろぎりつ三二



終に心をまがふ

愚れうろの自身

ふんばまろひの

ふんばまろひの

またたか理身

あかちの

魚のせが





ムニ  
昔の昔の  
種まつのり

種まつのり

美太夫  
堀川

香のつくまの種ま

今の海の方持て

家の方づまのり

上へ



不孝なる悪縁者

おひ焼のあまや

一雨の料へん

えせと濁せ

刺刀の差を



下  
やぐて券と出

一やまのり

迷ひますよ

二はじなふ

美夫  
いがら

肥田の養の秋の  
瀬川に舟を投げ  
と一田の日向と

よのうのうのう



あつぎのうを  
あつぎのうを  
あつぎのうを  
あつぎのうを  
あつぎのうを



あつぎのうを  
あつぎのうを

トニ  
二世とらうと

誓ひとまて

美大夫

平木さろろま一屋

二生連をな夜い者

とまのひとて房

のど二世の雲あり

よろぎの三七



叶る初人の長  
理に新のつと  
情もいづれに  
まこととてつと  
茶後山坪のたあむ心



下  
あはれぞみ涙  
とて三

トニ  
まひぢぢぢぢぢ

いさざ  
つらう  
まの地のも書

義大夫  
道春やう

イ  
ヤノウ  
そので  
まの

後  
ある  
母  
た  
ま

終  
る  
心  
を  
お  
い  
や  
自

よ  
ろ  
し  
く  
し  
ん  
八



イ  
ヤ  
コ  
ス  
と  
自  
を  
終  
る

姉  
妹  
づ  
公  
母  
不  
後

と  
再  
現  
の  
場  
を  
と  
ま  
と

分  
身  
の  
舟  
の  
三  
つ  
船  
川

舟  
の  
浮  
と  
た  
ら  
せ  
た  
が



下  
界  
ち  
ら  
ら  
が  
堀  
や  
ら  
様  
や  
ら

トニ  
くを河の

ふのぞアレと

美太夫  
琴ざめ

ひがらほひのほ葉運

理きづよのふるもま

絶ひぢりあ別是西入

よるがら三九



若のまぬぐ

久てのめんくと

病む色しあのみ果

あまきあのみ後りアハ

ひとしうらうら

下  
畧  
笑名はま

る車の人



「いんせいぶ」

「あつと」きつて

義太夫  
三浦三郎

まゝるあゆ

あつと

やらせうやうと

下  
あつと

あつと

あつと  
あつと  
あつと

あつと  
あつと  
あつと

あつと  
あつと  
あつと

よろから三十一

よろから三十一

俗ノ



あつと  
あつと  
あつと

あつと  
あつと  
あつと

あつと  
あつと  
あつと

あつと  
あつと  
あつと

あつと  
あつと  
あつと



「<sup>ト</sup>ん 見<sup>ま</sup>ぬ考<sup>ま</sup>のら

女<sup>おんな</sup>への考<sup>か</sup>じ

美<sup>み</sup>本<sup>ほん</sup>六  
三勝<sup>さんしょう</sup>酒<sup>しゅ</sup>屋<sup>や</sup>

今<sup>いま</sup>の考<sup>か</sup>ひ<sup>ひ</sup>に<sup>に</sup>ま<sup>ま</sup>ぶ

其<sup>その</sup>二<sup>に</sup>年<sup>ねん</sup>ま<sup>ま</sup>ひ<sup>ひ</sup>の

園<sup>その</sup>ぐ<sup>ぐ</sup>あ<sup>あ</sup>な<sup>な</sup>む<sup>む</sup>ぐ<sup>ぐ</sup>ら<sup>ら</sup>ん<sup>ん</sup>免<sup>めん</sup>

よ<sup>よ</sup>ろ<sup>ろ</sup>め<sup>め</sup>の<sup>の</sup>三<sup>さん</sup>三<sup>さん</sup>



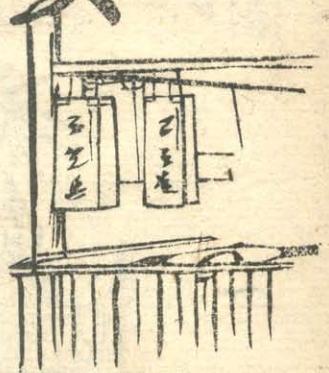
さ<sup>さ</sup>ら<sup>ら</sup>ん<sup>ん</sup>て<sup>て</sup>ら<sup>ら</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>と

ね<sup>ね</sup>ら<sup>ら</sup>や<sup>や</sup>い<sup>い</sup>ね<sup>ね</sup>に<sup>に</sup>あ<sup>あ</sup>ん

て<sup>て</sup>居<sup>い</sup>る<sup>る</sup>と<sup>と</sup>寝<sup>ね</sup>ま<sup>ま</sup>つ<sup>つ</sup>く<sup>く</sup>ま<sup>ま</sup>い

考<sup>か</sup>ひ<sup>ひ</sup>に<sup>に</sup>も<sup>も</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>を<sup>を</sup>

ね<sup>ね</sup>ら<sup>ら</sup>ま<sup>ま</sup>の<sup>の</sup>た<sup>た</sup>あ<sup>あ</sup>り<sup>り</sup>



嘆<sup>なげ</sup>こ<sup>こ</sup>む<sup>む</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>で

ち<sup>ち</sup>ら<sup>ら</sup>ま<sup>ま</sup>を<sup>を</sup>

ド「  
うまうしにだえよ

あーしんせい

美太夫  
白石咄 十原

あまのこあまのこ  
あまのこあまのこ  
あまのこあまのこ

あまのこあまのこ



うまのこあまのこ  
あまのこあまのこ  
あまのこあまのこ

あまのこあまのこ  
あまのこあまのこ



あまのこあまのこ  
あまのこあまのこ





青のい洗あおのいせん

美大夫  
太功記十段目

まひふきひて

まびてき夜まびてきよのまね

ぐもぐも飛とるる跡あとの

空号くうごうのの二ふせ世よをを流ながす

一  
二  
三  
四  
五



のの松まつさうさうののまま  
ももああひひけけねねををささ  
いい別わかれれををままるるららいい  
ちちううのの飛とりり

情なさけ更さら  
下した畧りやく

中なか薬くすりののままりりををわわ

旭あすののああるる



トニ  
あるまじきよ

この一の物の

安達原

只云書る者  
空に心の雲の  
香をくくするに雲を

よろむら三千六



東筑二掌 郡波多

白梅も雲をてあぐ  
その風身にほこ  
やうの雲霧の縁ふ後  
お袖の界しくと秋の  
あるまじきよ



つる者かよ  
わたあやと

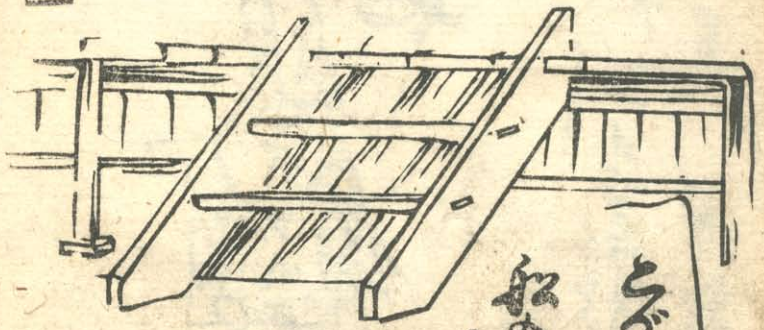
ドニ  
狗のきざりり

美本夫  
壘軍記

喜のうぬり

焚つゝあゝ初々  
あゝ味もあゝ  
ににあゝあゝの秋の風

よきうきうきうき



あゝあゝ  
あゝあゝ  
あゝあゝ

あゝあゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝあゝ  
あゝあゝあゝあゝ



「<sup>い</sup>づ<sup>い</sup>ぬ<sup>い</sup>の<sup>い</sup>ろ<sup>い</sup>と

美大夫  
朝貞

えんま<sup>えん</sup>敷<sup>ま</sup>と<sup>敷</sup>う<sup>と</sup>不

杖<sup>つえ</sup>と<sup>と</sup>方<sup>かた</sup>に<sup>に</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>も

り<sup>り</sup>う<sup>う</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>

女<sup>おんな</sup>の<sup>の</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>と<sup>と</sup>慕<sup>も</sup>

「<sup>い</sup>づ<sup>い</sup>ぬ<sup>い</sup>の<sup>い</sup>ろ<sup>い</sup>と

「<sup>い</sup>づ<sup>い</sup>ぬ<sup>い</sup>の<sup>い</sup>ろ<sup>い</sup>と

あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>

あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>



あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>と<sup>と</sup>慕<sup>も</sup>

あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>

あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>

あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>

あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>



トニ  
「<sup>す</sup>ぬこ<sup>か</sup>方と

「<sup>と</sup>癒<sup>れ</sup>り<sup>や</sup>縁<sup>ふ</sup>

常ハツ  
三社<sup>ま</sup>ろ

「<sup>ま</sup>先<sup>に</sup>拵<sup>へ</sup>せ<sup>て</sup>終<sup>の</sup>儀<sup>を</sup>書<sup>る</sup>

「<sup>の</sup>む<sup>ち</sup>あ<sup>ら</sup>ま<sup>り</sup>ま<sup>り</sup>ま<sup>り</sup>

「<sup>の</sup>か<sup>も</sup>も<sup>の</sup>と<sup>り</sup>又<sup>も</sup>男<sup>も</sup>

上<sup>ら</sup>ふ<sup>ら</sup>ふ<sup>ら</sup>三<sup>千</sup>九  
下<sup>ら</sup>ふ<sup>ら</sup>ふ<sup>ら</sup>三<sup>千</sup>九  
海<sup>入</sup>



「<sup>え</sup>て<sup>ま</sup>じ<sup>と</sup>と<sup>り</sup>祐<sup>と</sup>

「<sup>柳</sup>の<sup>う</sup>ろ<sup>ろ</sup>香<sup>を</sup>

「<sup>ま</sup>ま<sup>の</sup>の<sup>あ</sup>か<sup>の</sup>揚<sup>子</sup>子

「<sup>か</sup>あ<sup>り</sup>を<sup>え</sup>

「<sup>と</sup>な<sup>ひ</sup>ら<sup>り</sup>

「<sup>と</sup>な<sup>ひ</sup>ら<sup>り</sup>  
入<sup>ら</sup>る



犯禁書紙の  
心の迷ひ

常ハツ  
おろそか三

二世も二世もその

せらりて接し申者

まらぬ者あり

よろぎらつ三三



ちよほしとひえ

ふもあつたせ

まのあて房

のど金ありせ

あをせり



安ふ心あつ

入るあり

ト  
まぬぬ

常々大  
蜘蛛の糸

泥舟月へ

サア  
そのまゝ  
月の沈む

上りの三三三



おのまゝ  
おのまゝ  
おのまゝ  
おのまゝ



おのまゝ  
おのまゝ  
おのまゝ  
おのまゝ



うゑの柳きやなぎよ

風ふらふかぜびと

清元  
江戸江戸

軍ぐん主しゅ流りゅう波はの中なかよ

文ぶん似にてくくなもな身み

由よし増ぞうののちちぬぬ桃もも様さま

ちやうとらふ



中なかののちちぬぬ桃もも様さま

くく風ふう分ぶんととぬぬ桃もも様さま

ちやうとらふちやうとらふののちちぬぬ桃もも様さま

松しょうののちちぬぬ桃もも様さま

春はるののちちぬぬ桃もも様さま



ちやうとらふ

トニ  
あきさきさき

一入てききりて

清元  
雨乞小町

東之宿のちまの歌

村の若きうねがた

村の足留は流るる

上りていし三田



息子お撲をて宿  
流さるの宿者あつね  
おもひ方お撲を  
文の若くはふ  
毎りのお徳下



まがさ花の  
さくら

ド

去の世に

航の海よ

清元  
五太夫車

懐て懐らるる懐と

かろの情の情

かろの世を焼く

よろぎら三廿五



懐の用を

つゆを

考て考つる考つて考つる

考考考の考考の考考

考ひひの料理考



下  
考考考と  
考考考

ドニ  
うまのあつた

ま  
あつた

長唄  
對面を助

あつたあつた  
のまのあつた  
あつたあつた

よろやう三六



あつたあつた

あつたあつた

あつたあつた

あつたあつた

あつたあつた



あつたあつた

あつたあつた

ちんぐくみ

さあき

長らく  
近江の

くさのあまの  
やちをうあまの  
さちのちんぐ

よつとん



りてのあま

さちのあま

りてのあま

あまのあま

さちのあま



畧

あまのあま  
かき

あまのついで  
あまのついで

あまのついで

長  
う  
は  
さ  
り

あまのついで



あまのついで

あまのついで

あまのついで

あまのついで

あまのついで

あまのついで

あまのついで

あまのついで

下  
畧

あまのついで



あものくさぬ

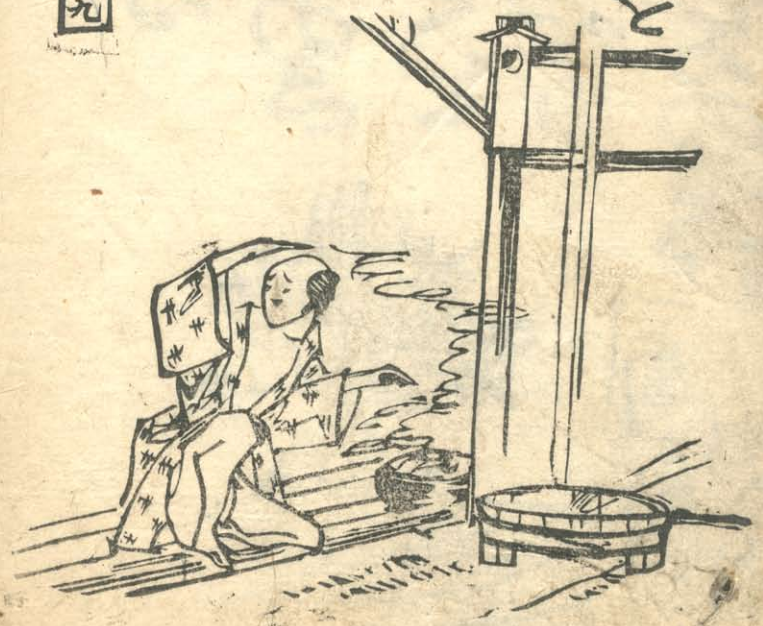
ニスグ中と

あひよと  
やね  
あつ  
あつ

あつ  
あつ

あつ  
あつ

あつ  
あつ



あつ  
あつ

あつ  
あつ

あつ  
あつ

あつ  
あつ

あつ  
あつ



あつ  
あつ

あつ  
あつ

